

3 景観ゾーン別景観形成方針

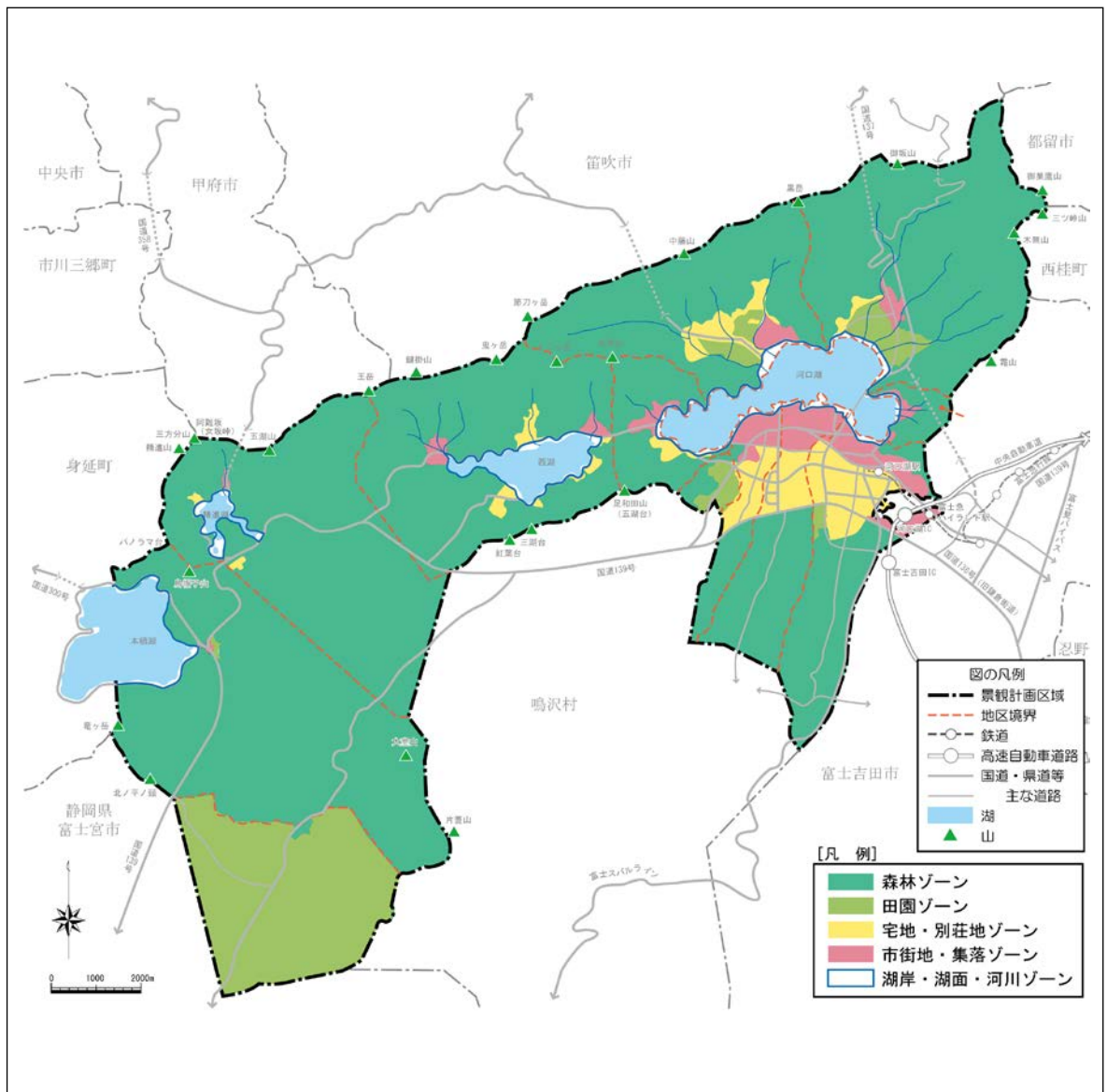
(1) 景観ゾーンの設定と区分

本町の景観を、主として土地利用的な観点から、同質性が認められる範囲をひとつのゾーンとして大別すると、下表に示す5つの景観ゾーンに区分することができます。

■景観ゾーンの設定

景観ゾーン	概 要	
森林ゾーン	・御坂山地、足和田山塊、富士山麓の樹海を中心とした豊かな自然環境を有する森林ゾーン。 ・本町の面積の7割以上を占めており、原生林から里山の林まで多様で豊かな森林景観は、本町の重要な景観要素となっている。	 ・富士山麓の樹海
田園ゾーン	・富士ヶ嶺高原に広がる大規模な酪農牧草地、河口・大石地区と、大嵐地区周辺にまとまって分布する農地（田、畑）の展開するゾーン。 ・森林景観や湖水景観と並び、本町のふるさと景観を形成する景観であるが、近年、減少や荒廃が懸念されている。	 ・大石地区の農地
宅地・別荘地ゾーン	・河口湖、西湖、精進湖周辺に立地する住宅地、別荘地、民宿・ペンション村の景観が卓越するゾーン。 ・比較的成り立ちが新しく、周辺の自然景観との調和が求められるゾーンである。	 ・西湖民宿村
市街地・集落ゾーン	・船津を中心とした既成市街地、河口、大石、長浜、小立、勝山、大嵐、西湖、根場、精進、本栖など古くから形成された伝統的集落地等の景観が卓越するゾーン。 ・近年、景観変化が大きいゾーンであり、まちづくりにあたって景観的な配慮が求められるゾーンである。	 ・河口集落
湖岸・湖面・河川ゾーン	・河口湖、西湖、精進湖、本栖湖の湖岸、湖面と河川を中心とした水と水辺の景観が卓越するゾーン。 ・富士山の眺望と並んで本町のイメージを牽引し、ふるさと景観を形成する重要な景観要素となっている。	 ・精進湖

■ 景観ゾーン区分図



・ 黒岳上空からみた河口湖

(2) 景観ゾーンごとの景観形成方針

1) 森林ゾーンの景観形成方針

森林ゾーンは、樹海をはじめ本町の約7割以上の面積を占める森林景観が卓越する景観ゾーンで、湖水景観とともに、本町の重要な景観要素であるため、次のような方針に基づいて景観の保全と向上を図ります。

景観形成方針

①樹海の厳正な保全

貴重な原生林である樹海については、国立公園法等に基づき森林や貴重な動植物、溶岩地形など、優れた自然資源を厳正に保全し、樹海景観の維持を図ります。

②森林の適正な維持管理

「富士河口湖町森林整備計画」に基づき、森林の保全、森林整備、間伐、松くい虫対策など、適正な維持管理により、森林景観の維持を図ります。

③森林開発の抑制

森林に対して比較的開発の規制の緩い国立公園普通地域の民有林については、極力、開発の抑制を図るとともに、やむを得ず開発を行う場合は、残地森林の確保や植樹等により、森林景観の維持に努めます。

④自然環境や森林景観に配慮した施設整備

林道や治山施設、登山道、建築物や工作物の整備にあたっては、多自然型工法をはじめ、自然景観と調和する素材や色の使用など景観に配慮した施設整備を図るとともに、ごみの不法投棄の防止など、景観を阻害している要因の改善を図ります。

⑤適切な眺望場所の確保

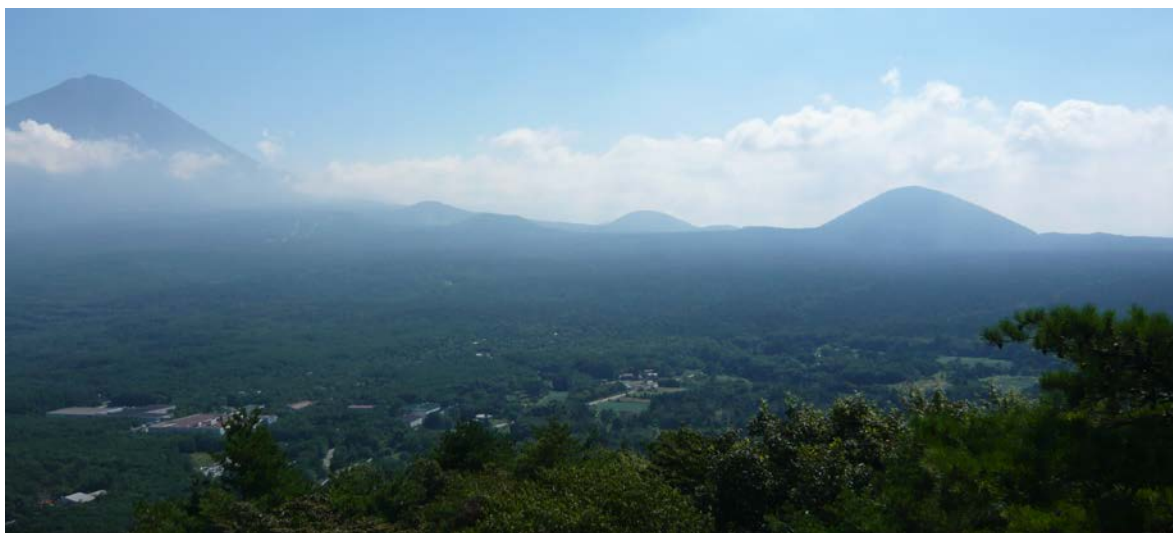
御坂山地や足和田山塊の稜線など、登山道やハイキングコースに適切な眺望場所の確保に努めるほか、主要な眺望場所については、一部枝払いや下草刈りなど眺望確保のための改善整備についても検討します。

⑥貴重な動植物の保全

森林地域における貴重な動植物の生息地や生息環境の保全を図り、景観的にも動植物とふれあえる環境づくりに努めます。

⑦森林の有効活用

森林療法や森林環境学習、エコツーリズムの推進、森林レクリエーション施設の整備、バイオマスエネルギーの活用など、森林のもつ多面的な機能を活かした取り組みを促進することにより、森林景観の維持向上に努めます。



・ 広大な青木ヶ原樹海

2) 田園ゾーンの景観形成方針

田園ゾーンは、高原牧草地や田園景観が卓越する景観ゾーンで、良好な農村景観の維持向上を図るため、次のような方針に基づいて景観の形成を図ります。

景観形成方針

①酪農景観の保全

富士ヶ嶺地区の富士山を背景にした雄大な酪農景観については、優良農地（牧草地等）の保全を図り、富士山の眺望など良好な景観を損なわないよう、牧場施設や牧草地の美観の維持向上に努めます。

②田園景観の維持向上

優良農地の保全や農業基盤整備を推進するとともに、富士山や湖の眺望の確保、田園景観と調和する農業関連施設の整備、ごみや農業廃棄物の不法投棄の防止、景観阻害要因の改善などにより、田園景観の維持向上を図ります。

③耕作放棄地の景観利用

景観形成の観点から、観光農園や体験農園、クライנגルテン（滞在型市民農園）、景観緑地（お花畑等）など、多面的な活用について検討を図ります。

④里山の保全

良好な田園景観を支える里山を守るため、森林整備計画に基づく森林の保全と適正な維持管理、町民ボランティア等による里山保全活動の促進を図ります。

⑤農村交流の促進

田園ゾーンの魅力と活力向上を図るため、観光農園、体験農園、クライングルテン（滞在型市民農園）の普及、農産物直売所の拡充、グリーンツーリズムの普及など、農業を通じた交流を促進し、生き生きとした農村・農業景観の形成を図ります。

3) 宅地・別荘地ゾーンの景観形成方針

宅地・別荘地ゾーンは、河口湖周辺の郊外部や湖周辺で立地が進む住宅地、別荘地、民宿・ペンション村の景観がみられるゾーンで、富士山の眺望や自然景観と調和する良好なまち並み景観を形成するため、次のような方針に基づいて景観形成を図ります。

景観形成方針

①富士山や湖の眺望の保全

富士山や湖を眺められる住宅地等については、良好な眺望を損なわないよう、屋外広告物等の適切な規制やごみの不法投棄の防止など、景観を阻害する要因の改善に努めます。

②宅地化が進む郊外住宅地の適正なまち並み景観の誘導

宅地化が進んでいる河口湖南部や北部の郊外住宅地については、適切な土地利用の誘導を図るとともに、自然公園法や景観形成基準に基づいて周辺景観と調和する良好なまち並み景観の規制・誘導を図ります。

③沿道商業地の適正なまち並み景観の誘導

商業施設等の立地が進んでいる国道 139 号や河口湖大橋通り沿道等については、建築物や工作物、屋外広告物等の適正な規制・誘導により、富士山の眺望や周辺景観と調和した整序感のあるまち並み景観の形成を図ります。

④別荘地等のまち並み景観の維持向上

湖周辺や森林、田園に隣接して立地する別荘地、民宿・ペンション村については、緑豊かな周辺環境と景観を維持するとともに、良好なまち並み景観の維持向上を図ります。また、ごみの不法投棄の防止など、景観を阻害する要因の改善に努めます。

4) 市街地・集落ゾーンの景観形成方針

本町の中心市街地の景観や古くから形成された集落地景観を主体とする景観ゾーンで、次のような方針に基づいて地域の特性に応じた良好な景観形成を図ります。

景観形成方針

①富士山や湖の眺望の保全

富士山や湖の良好な眺望を損なわないよう、市街地や集落地の適正なまち並み景観の誘導を図るとともに、屋外広告物等の適切な規制・誘導や景観を阻害する要因の改善に努めます。

②中心市街地の賑わいある景観の創出

河口湖駅前から河口湖畔のホテル・旅館街については、道路や歩行者空間の景観整備や電線類の地中化、屋外広告物の適正な規制・誘導を図るなど、本町の顔にふさわしい賑わいとおもてなしが感じられる景観の創出を図ります。

③地域の特性に応じた良好な集落景観の形成

古くから形成された伝統的集落をはじめ、風土と人々の永い営みにより形づくられた集落地独特の趣を損なわないよう、特色ある景観資源の保全と顕在化を図るとともに、周辺の自然や景観と調和した良好なまち並み景観の形成を図ります。

5) 湖岸・湖面・河川ゾーンの景観形成方針

湖岸・湖面・河川ゾーンは、湖水景観を中心とした景観ゾーンで、富士山の眺望と同様に本町を代表する景観であり、優れた湖水景観の保全と魅力の向上を図るため、次のような方針に基づいて景観形成を図ります。

景観形成方針

①湖水景観の保全

湖水の水質の維持、自然な水辺を感じさせる葦原の保全、魚類などの生物の生息環境の保全、自然や景観に配慮した護岸や各種の施設整備、ごみの不法投棄の防止などにより、豊かな湖水景観の保全を図ります。

②湖畔景観の魅力の向上

湖畔からの富士山や湖の眺望を損なうことのないよう、良好な湖畔のまち並み景観の誘導、適正な屋外広告物等の規制・誘導、景観を阻害する要因の改善に努めます。

また、湖畔道路や遊歩道、親水空間、眺望場所の景観に配慮した整備や湖畔の緑化等により、湖畔景観の魅力の向上を図ります。

③自然レクリエーションの活性化

釣りや各種水上レクリエーション、キャンプ場など、活動を行うフィールドについては、景観に配慮した整備や景観的な魅力向上を図るとともに、観光施策と連携し、レクリエーション活動の活性化を促進します。

4 地区別景観形成方針

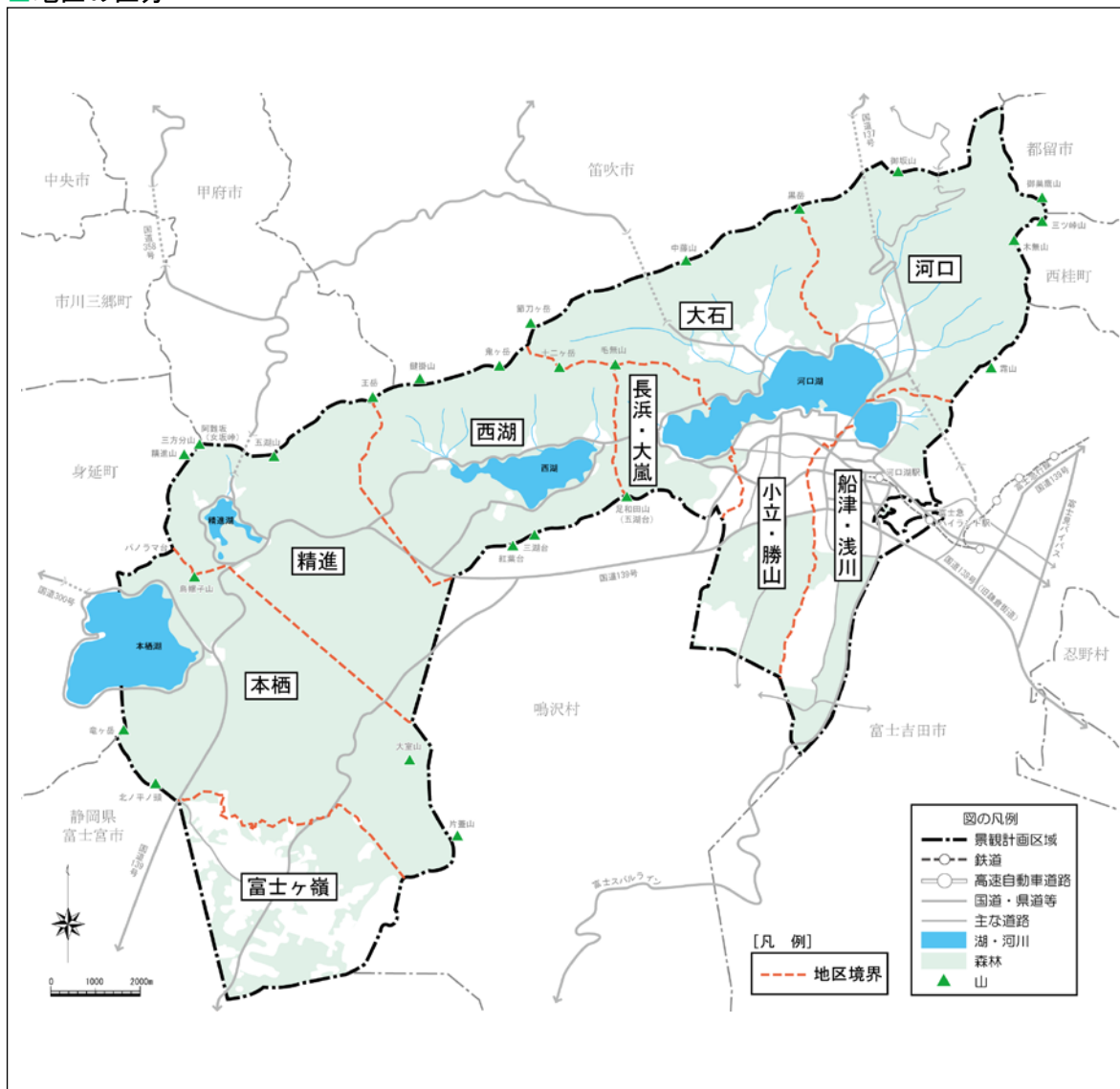
(1) 地区の区分

本町の地区は、第1章－①－(2)まち・地域の成り立ちで記述したとおり、明治時代に成立した村が基本となって今日まで継承されています。これらの12地区は、それぞれに特色ある歴史を有しており、意識的なまとまり感や地域の暮らしの単位を形成しています。

そのため、景観的な地区区分を行うにあたって、前述の12地区を基本としますが、河口湖南岸地域は、地区の面積の大小や景観要素の粗密度合など、6地区ごとの計画とすると計画立案上バランスを欠くため、河口湖南岸の6地区は、東西方向に隣接する2地区ずつをまとめ、便宜上、長浜・大嵐地区、小立・勝山地区、船津・浅川地区の3地区として表記します。

以上の点から、本町の景観的な地区区分は、下図に示すとおり9つの地区に区分します。

■地区の区分



(2) 地区ごとの景観形成方針

1) 船津・浅川地区

目 標

賑わいと歴史性を活かした景観づくり

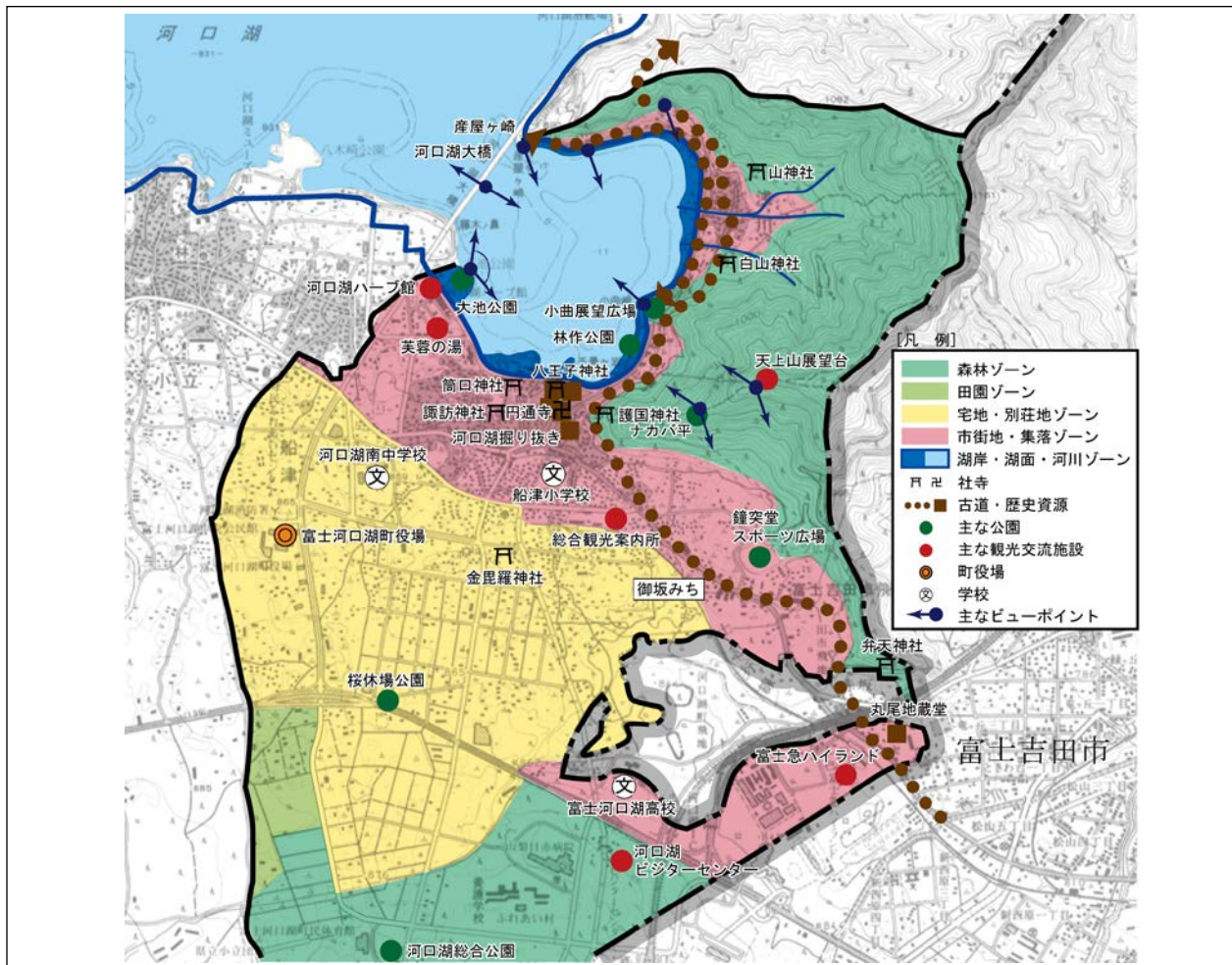
河口湖観光の中心地であり、公園や宿泊・観光施設などが集積する湖岸周辺、やや高台にあり船津で最も歴史が古く狭い路地に沿って趣ある家並みが続く旧市街地、新興住宅地化した国道139号周辺のまち並みと幹線道路沿道の商業のまち並み、富士山麓の森林帯を構成する南部の森林、林間に点在する公園・スポーツ施設など、様々な顔があります。

多彩な景観資源の保全と顕在化、景観資源を活かした地域の魅力づくり、富士山や湖水、森林など、優れた景観に配慮した良好なまち並み景観の誘導などにより、「賑わいと歴史性を生かした景観づくり」を目指します。

基本方針

- 富士山と河口湖の眺望を保全する
- 河口湖観光の中心として、まちの魅力や賑わいを感じられる景観を形成する
- 湖畔の美しい景観を維持し、魅力を高める
- 富士山の眺望や湖水景観など、周辺景観と調和し、整序感のある良好なまち並み景観を形成する(市街地、宅地化が進む郊外住宅地や幹線道路沿道など)
- 歴史資源(鎌倉街道等)や良好な景観資源を顕在化し、まちづくりに活かす
- 主要な道路景観の魅力を高める(河口湖駅前通り、河口湖大橋通りなど)

景観形成の方針図



景観形成の方針

■森林ゾーン

天上山周辺と国道 139 号以南の森林ゾーンは、富士山や湖の眺望景観の維持保全の観点からも、地区の景観形成上の観点からも、重要な役割を果たしています。景観を損なわないよう森林の保全を図るとともに、景観的活用の観点から、一部、天上山公園や小曲展望広場の整備に加え、ハイキングコース、眺望場所等の整備を図ります。



・ナカバ平

■田園ゾーン

国道 139 号南側のかつて原野であった一団の農地ゾーンで、国道 139 号からの富士山の良好な眺望を確保するためにも、農地の保全を図るとともに、耕作放棄地等については、景観緑地（お花畑等）として活用するなど、景観の維持に努めます。



・国道 139 号南側の農地

■宅地・別荘地ゾーン

中心市街地南側一帯の宅地化が進んでいるゾーンで、商業施設等の立地が進んでいる国道 139 号や河口湖大橋通り沿道については、建築物や屋外広告物の適正な規制・誘導を図ります。

また、郊外住宅地については、都市計画との連携を図りながら、適切な土地利用やまち並み景観の誘導を図ることにより、富士山の眺望や周辺景観と調和した整序感のある景観形成を図ります。



・河口湖大橋通り

■市街地・集落ゾーン

本町の中心市街地を形成する河口湖駅前付近、河口湖畔のホテル・旅館街、古くから形成された趣のある旧市街地等の市街地ゾーンで、道路や歩行者空間の景観整備や電線類の地中化、特色あるまちなか緑化、屋外広告物の適正な規制・誘導等により、本町の顔にふさわしい魅力があり賑わいとおもてなしの感じられる景観の創出を図ります。



・河口湖通りのまち並み

■湖岸・湖面・河川ゾーン

公園、駐車場、遊歩道等が整備された湖岸のゾーンで、施設の修景、緑化、屋外広告物の適正な規制・誘導等により、良好な景観の維持向上を図ります。

また優れた眺望場所である産屋ヶ崎の保全と魅力の向上を図るとともに、小曲展望広場の魅力の向上を図ります。



・小曲展望広場からみた湖畔中心部

<主要な景観形成の対象>

- 富士山や湖の眺望
- 中心市街地のまち並み（河口湖駅前、湖畔のホテル・旅館街、旧市街地）
- 湖および湖畔の公園・遊歩道
- シンボルとなる道路景観（国道 139 号、河口湖大橋通り、都市計画道路河口湖駅前線など）
- 幹線道路沿道の商業地のまち並み（国道 139 号、河口湖大橋通り）
- 宅地化が進む郊外住宅地のまち並み（中心市街地南側一帯）
- 活用すべき歴史文化資源（鎌倉街道、良好な眺望場所、旧市街地の社寺や路地など）

2) 小立・勝山地区

目 標

緑豊かで落ち着きとまとまりのあるまち並み景観づくり

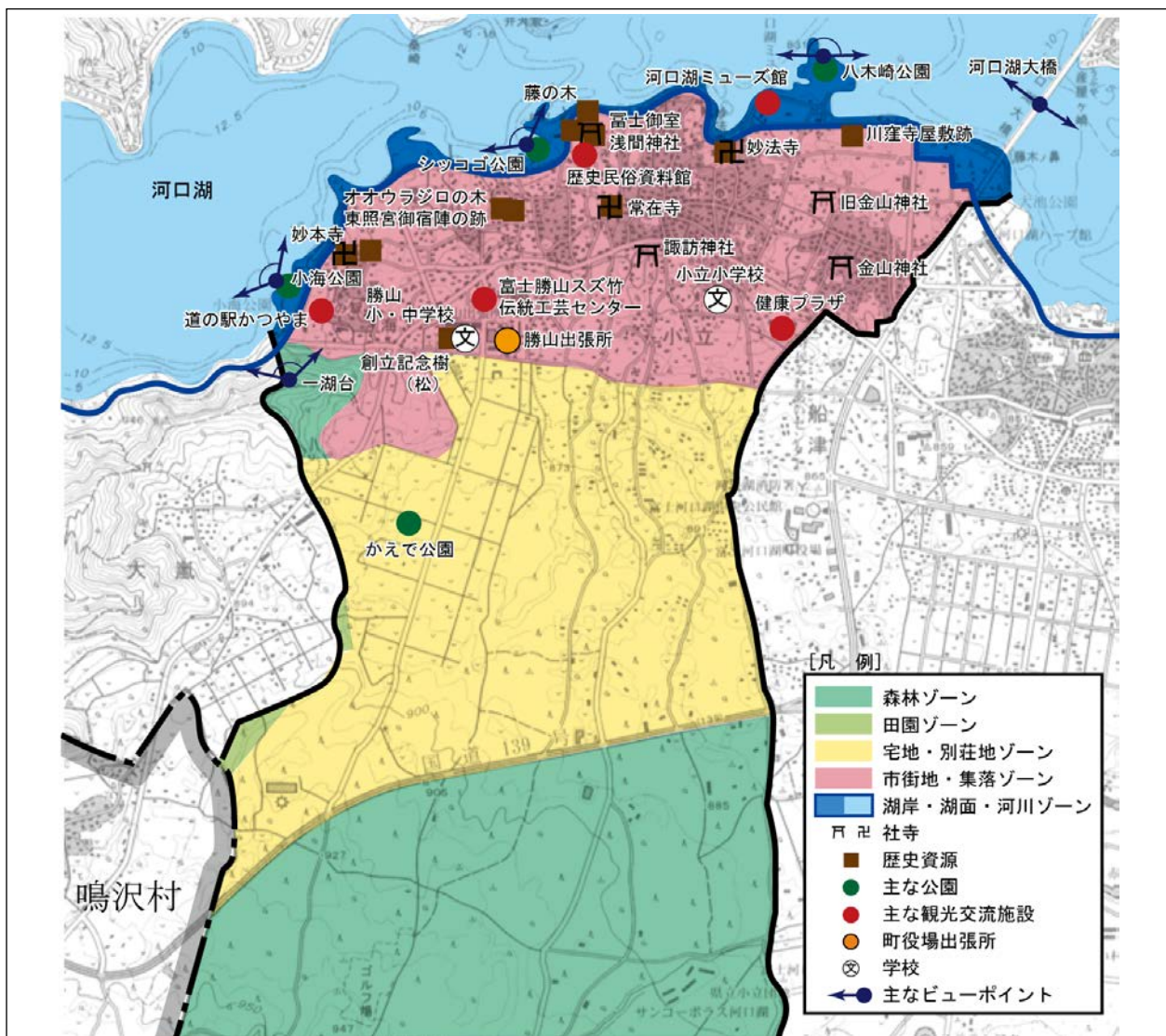
河口湖や御坂山地の山並みの眺望に優れ、各種公園が立地する緑豊かな湖畔、高台の県道鳴沢富士河口湖線沿いに形成された旧市街地、イチイの生け垣や伝統的な建築物など集落の趣がある緑豊かなまち並み、住宅や工場等の立地が進む郊外部、富士山麓の森林帯を構成する南部の森林など、全体的に富士山の眺望に優れ、緑豊かで落ち着いた雰囲気のあるまち並み景観が保たれています。

良好な自然景観やまち並み景観の保全を図るとともに、自然環境や周辺景観に配慮した景観整備や修景、まち並み景観の誘導により、「緑豊かで落ち着きとまとまりのあるまち並み景観づくり」を目指します。

基本方針

- 富士山と河口湖の眺望を保全する
- 湖畔の美しい景観を維持し、魅力を高める(眺望、緑、水際など)
- 緑豊かで趣のある旧市街地の良好なまち並み景観の維持向上を図る
- 宅地化が進む郊外住宅地の自然と調和した整序感のあるまち並み景観を誘導する
- 主要な道路景観の魅力を高める(湖畔道路、県道鳴沢富士河口湖線など)

景観形成の方針図



景観形成の方針

■森林ゾーン

足和田山の東端となる山地と地区南部一帯の森林ゾーンは、富士山の眺望や河口湖の景観形成上、重要な役割を果たしており、景観を損なわないよう森林の保全を図ります。また、景観的活用の観点から東海自然歩道でもある一湖台へのハイキングコースの整備を図ります。

■宅地・別荘地ゾーン

旧市街地と国道 139 号に挟まれたゾーンで、ゾーン東側の林間住宅地については開発を抑制し、現在の緑豊かで静かな環境や良好な景観の維持に努めます。

小立土地区画整理事業地区や既存工業地など、西側の宅地化が進むゾーンでは、都市計画との連携を図りながら適切なルールに基づく土地利用やまち並み景観の誘導を図ることにより、河口湖方面からの富士山の眺望の確保と整序感のあるまち並み景観の形成を図ります。



・一湖台からの眺望



・宅地化が進む郊外住宅地

■市街地・集落ゾーン

河口湖勝山線周辺に形成された旧市街地・伝統的集落地ゾーンで、趣のある家並みに配慮したまち並み景観の誘導、イチイの生け垣の普及、伝統的な建築物や身近な歴史的景観資源の保存と活用、散策ルートの整備、空き家の有効利用などにより、河口湖方向からの富士山の眺望確保と伝統的集落地にふさわしい良好な景観の形成を図ります。



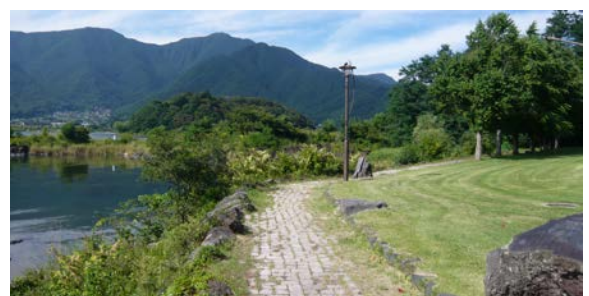
・集落地の家並み

■湖岸・湖面・河川ゾーン

市街地・集落ゾーンと連担しつつも、緑や公園等が多く立地する湖岸ゾーンで、既存公園の修景、水辺の葦原や湖畔の樹林の保全、新たな眺望場所の確保、湖畔の遊歩道、親水空間の修景整備、看板や廃屋などの景観阻害要因の改善などにより、湖畔の景観の維持向上を図ります。



・八木崎公園付近の自然な水辺



・シッコゴ公園と湖畔の遊歩道

<主要な景観形成の対象>

- 富士山や湖の眺望
- 旧市街地や伝統的集落地のまち並み（イチイの生け垣、伝統的建築物など）
- 宅地化が進む郊外住宅地等（新たな住宅地、土地区画整理事業地、工業地など）
- 湖岸（水辺の葦原、公園、遊歩道、樹林地など）
- 主要な道路（湖畔道路、県道鳴沢富士河口湖線など）

3) 河口地区

目 標

富士山信仰の歴史と観光リゾート文化が共生する景観づくり

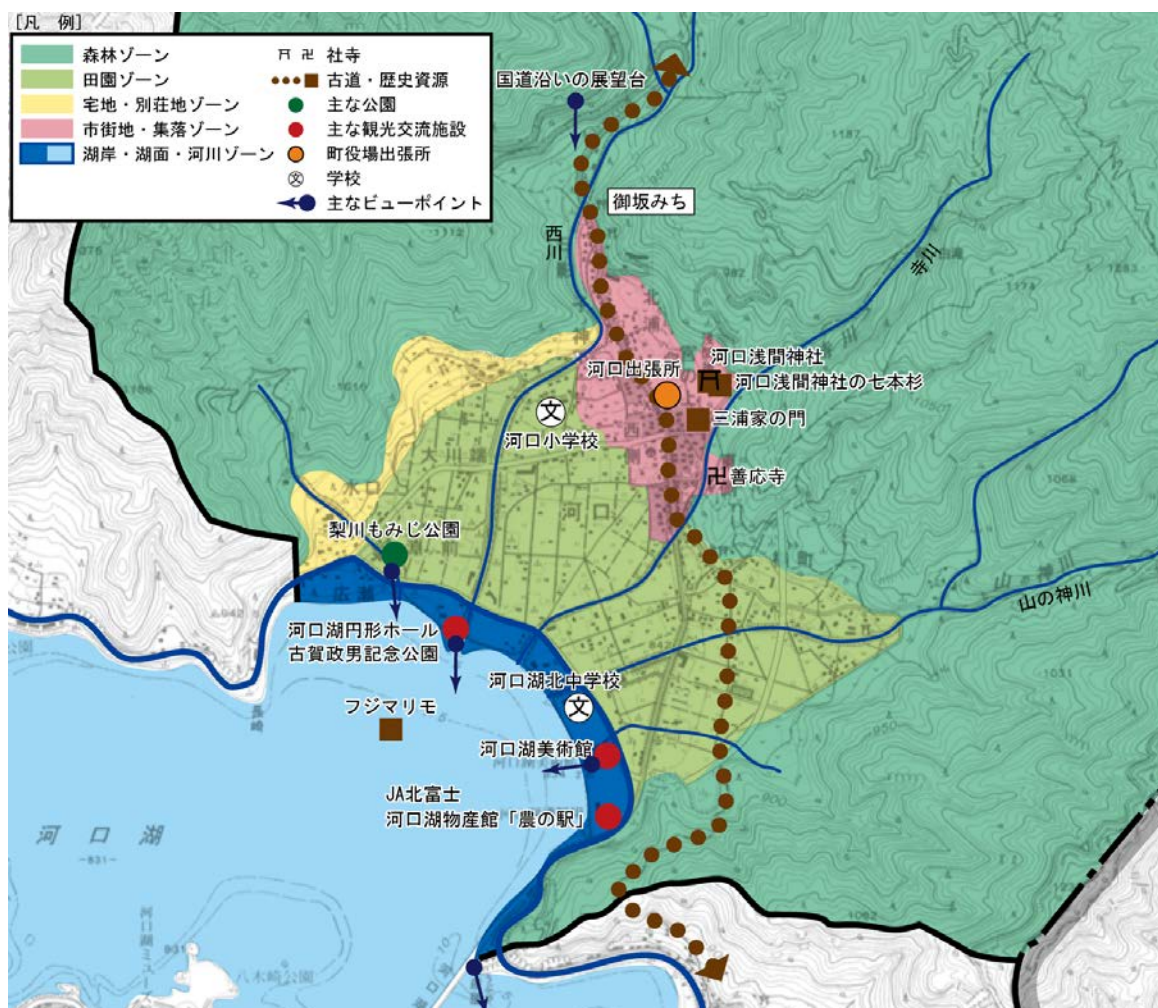
富士山信仰の歴史を伝える御師集落のまち並みと河口浅間神社の杉木立、鎌倉街道などの歴史的景観、優れた富士山の眺望、湖岸の遊歩道や紅葉回廊、湖畔の賑わいある観光ゾーン、のどかな農村景観など、歴史的景観、賑わい景観、田園景観が共存しています。

昔からの居住者に加えて別荘居住者や観光客が互いに協力しあいながら、優れた自然景観や眺望景観の保全、歴史資源を活かした景観まちづくりの推進、芸術文化の香り高く質の高いまち並み景観の誘導などにより、「富士山信仰の歴史と観光リゾート文化が共生する景観づくり」を目指します。

基本方針

- 景観資源を顕在化し、歴史的なまち並み景観を再生する(御師集落、鎌倉街道など)
- 富士山と河口湖の眺望を保全する
- 湖畔の美しい景観を維持し、魅力を高める
- 景観に配慮し、整序感のあるまち並み景観を誘導する(湖畔の観光ゾーンなど)
- 農村景観の維持向上を図る
- 主要な道路景観の魅力を高める(河口浅間通り、国道 137 号河口Ⅱ期バイパス、湖北ビューラインなど)

景観形成の方針図



景観形成の方針

■森林ゾーン

地区の北側および東側一帯に広がる森林ゾーンは、地区の背景を成す緑地景観として景観上重要な役割を果たしており、厳正な保全を図ります。また、景観的活用の観点から、稜線上や登山ハイキングコースにある主要な眺望場所等の整備を図ります。

■田園ゾーン

山の辺では集落と田畑が、平坦地では新興住宅と田畑が混在するゾーンで、ゾーンの西側は富士山の眺望に優れ、本町の中ではまとまった田園景観を形成していることから、優良農地の保全、無秩序な宅地化の抑制、富士山の眺望に配慮した施設整備、ごみや農業廃棄物の不法投棄の防止などにより、良好な田園景観の維持向上を図ります。

■宅地・別荘地ゾーン

低地北西部の山麓にある別荘地や宅地は、富士山の眺望を確保するとともに後背の森林景観と調和した整序感のあるまち並み景観の形成を図ります。

■市街地・集落ゾーン

鎌倉街道に沿って形成された御師の集落形態が残るゾーンで、御師のまちとして培った歴史性と多彩な歴史遺産を活用し、景観的にも歴史が感じられるまち並みの再生を図ります。

集落内を貫通している河口浅間通りは、国道 137 号河口Ⅱ期バイパスの開通に伴って改修が行われており、他にも歴史ある集落地の景観を損なわないよう、景観に配慮した道路整備を推進します。

■湖岸・湖面・河川ゾーン

富士山の眺望に優れ河口湖と富士山を同時に眺望できる湖岸ゾーンについては、湖水の水質の保全、湖畔遊歩道や梨川もみじ公園を中心とした親水空間や歩行者空間の整備充実を図ります。

観光施設が立地する湖畔ゾーンについては、富士山の眺望の確保、屋外広告物の適正な規制・誘導、整序感のあるまち並み景観の誘導等により、景観の維持向上を図ります。



・御坂峠から見た富士山



・田園と新興住宅



・山裾に展開する宅地・別荘地



・御師集落の核となっている河口浅間神社



・湖畔の遊歩道



・河口湖と富士山

<主要な景観形成の対象>

- 富士山と湖の眺望（逆さ富士など）
- 河口集落のまち並みと歴史資源（御師のまちの歴史資産、鎌倉街道など）
- 湖および湖岸の公園・遊歩道
- 湖畔の各種観光施設等のまち並み
- 田園景観（農地など）
- 景観に配慮すべき主要道路（河口浅間通り、国道 137 号河口Ⅱ期バイパス、湖北ビューラインなど）

4) 大石地区

目 標

河口湖と富士山の眺望を活かし、多彩で活力ある農の風景づくり

河口湖越しにみる富士山の眺望、大石公園などやすらぎを感じさせる湖畔、「大石浅間神社」や「大石紬伝統工芸館」を中心とした茅葺きの形態を残す大屋根の民家が並ぶ伝統的な集落地、果樹園や田畑が広がり、ブルーベリーなどの果樹栽培も盛んな田園地帯、樹林と草花に彩られたペンション村など、全体的に河口湖と富士山の眺望に優れ、田園・集落景観を中心に特色ある景観が見られます。

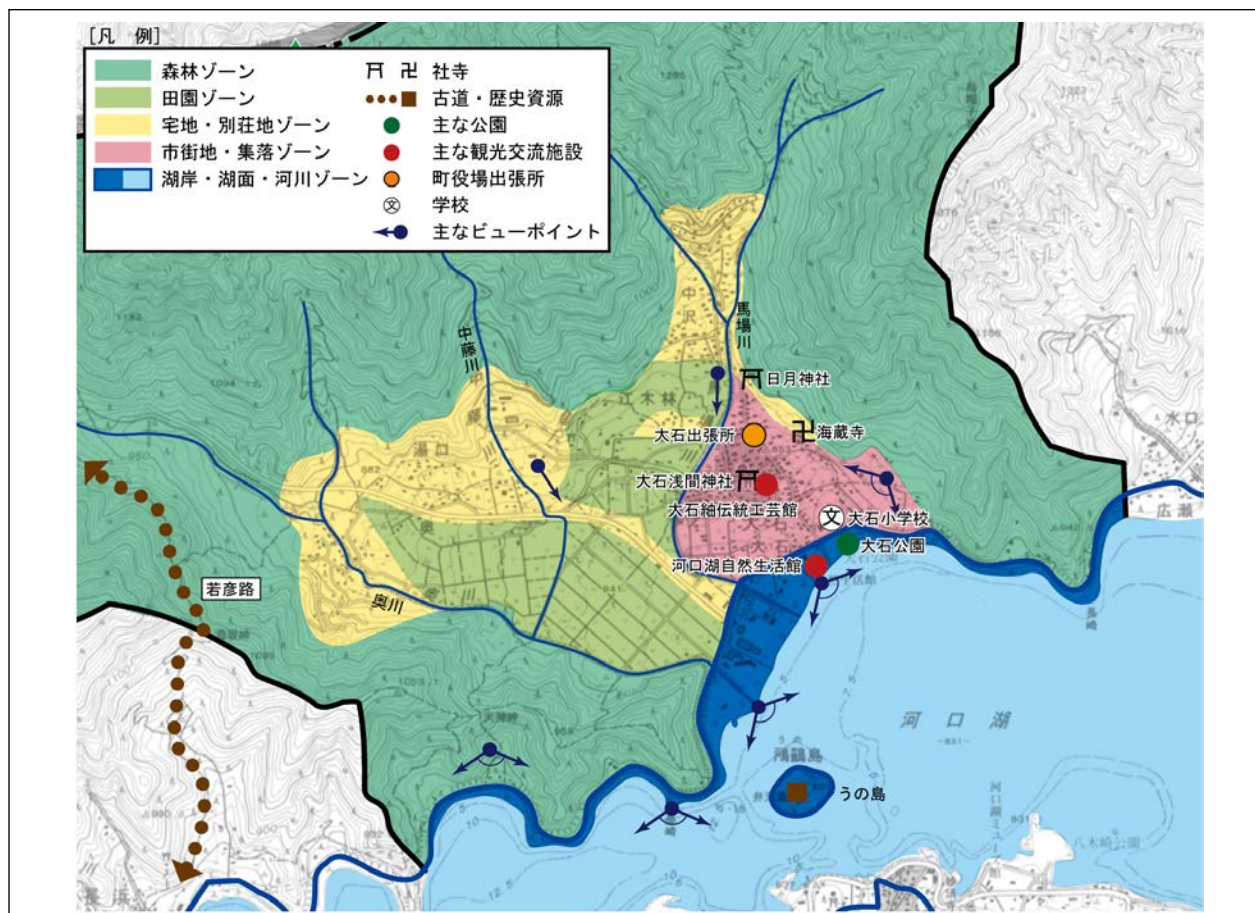
平成22年3月には笛吹市芦川地区を結ぶ若彦トンネル（県道富士河口湖芦川線）が開通し、観光地としての発展が期待されています。

特に、地区に広がる農の風景は、本町を代表する良好な農村景観であり、河口湖と富士山をひとつの風景としてみることができるとともに、湖畔の観光ゾーンの魅力の向上と併せて、地域の持ち味を活かした農村景観の質的向上、観光農園を中心とした地域農業の活性化を図ることにより、「河口湖と富士山の眺望を活かし、多彩で活力ある農の風景づくり」を目指します。

基本方針

- 特色ある農の風景を保全し、魅力を高める（伝統的集落地、水田、畑、果樹園等の農地など）
- 富士山と河口湖の眺望を保全する
- 歴史的景観資源を顕在化し、まちづくりに活かす（若彦路、社寺など）
- 湖畔の景観を維持し、魅力を高める
- 景観に配慮し、整序感のある家並み景観を誘導する（集落地、湖畔の観光地など）
- 主要な道路景観の魅力を高める（湖北ビューライン、県道富士河口湖芦川線など）

景観形成の方針図



景観形成の方針

■森林ゾーン

周囲を囲む森林ゾーンは、地区の背景を成す緑地景観として、また、良好な農村景観を形成する里山として重要な役割を果たしており、厳正な保全を図ります。また、新道峠や大石峠などの登山・ハイキングコースにある主要な眺望場所等の整備を図ります。

■田園ゾーン

集落地周辺の緩やかな傾斜地上に広がる田畑や果樹園を主体とした田園ゾーンで、富士山の眺望に優れ、広く特色ある農村景観を形成していることから、優良農地の保全、周辺景観に配慮した施設整備などを図ります。また、都市計画とも連携しながら平成 22 年 3 月に開通した県道富士河口湖芦川線沿道の土地利用、建築物、工作物、看板類の適切な誘導、景観を阻害している要因の改善などにより、良好な田園景観の維持向上を図ります。

■宅地・別荘地ゾーン

ペンション村をはじめ、山麓に形成された別荘地ゾーンで、現在の環境と景観を維持し、富士山と河口湖の眺望や後背の森林景観と調和した整序感のある宅地・別荘地景観の形成を図ります。

■市街地・集落ゾーン

古くから形成された茅葺きの形態を残す大屋根の民家が点在する伝統的な集落地ゾーンで、趣のある集落景観の持ち味を損なわないよう、歴史的な家並みの保存や周辺景観と調和する良好なまち並み景観の形成を図ります。

また、大石浅間神社等の鎮守の杜、古道（若彦路）、良好な眺望場所、大石紬伝統工芸館など、多様な地域景観資源を顕在化し、それらを活かした地域の魅力づくりを図ります。

■湖岸・湖面・河川ゾーン

湖岸ゾーンについては、湖と流入する奥川や馬場川等の水質の保全、湖岸の草原群生地や良好な植生の保全、うの島の景観の保全、眺望場所や親水空間の整備、景観に配慮した護岸や施設整備などにより、良好な自然景観の保全と魅力の向上を図ります。

大石公園をはじめ、観光レクリエーション施設が立地する湖畔ゾーンについては、整序感のあるまち並み景観の誘導や屋外広告物の適正な規制・誘導、廃屋や廃業したホテルなどの景観を阻害している要因の改善を図ることにより、湖畔の景観の維持向上を図ります。



・大石峠からみる大石地区の眺望



・広い田園地帯



・ペンション村の家並み



・大石集落のまち並み



・大石公園から見る富士山と河口湖

＜主要な景観形成の対象＞

- 富士山と湖の眺望（逆さ富士など）
- 農地の景観（水田、畑、果樹園、里山）
- 伝統的集落地の家並みと歴史的景観資源（茅葺きの形態を残す大屋根の民家群、社寺、古道など）
- 湖水・湖岸（草原群生地、うの島、湖の護岸など）
- 湖畔の各種観光施設等のまち並み
- 景観に配慮すべき主要道路（湖北ビューライン、県道富士河口湖芦川線など）

5) 長浜・大嵐地区

目 標

奥河口湖の風情がただよう懐かしい集落景観づくり

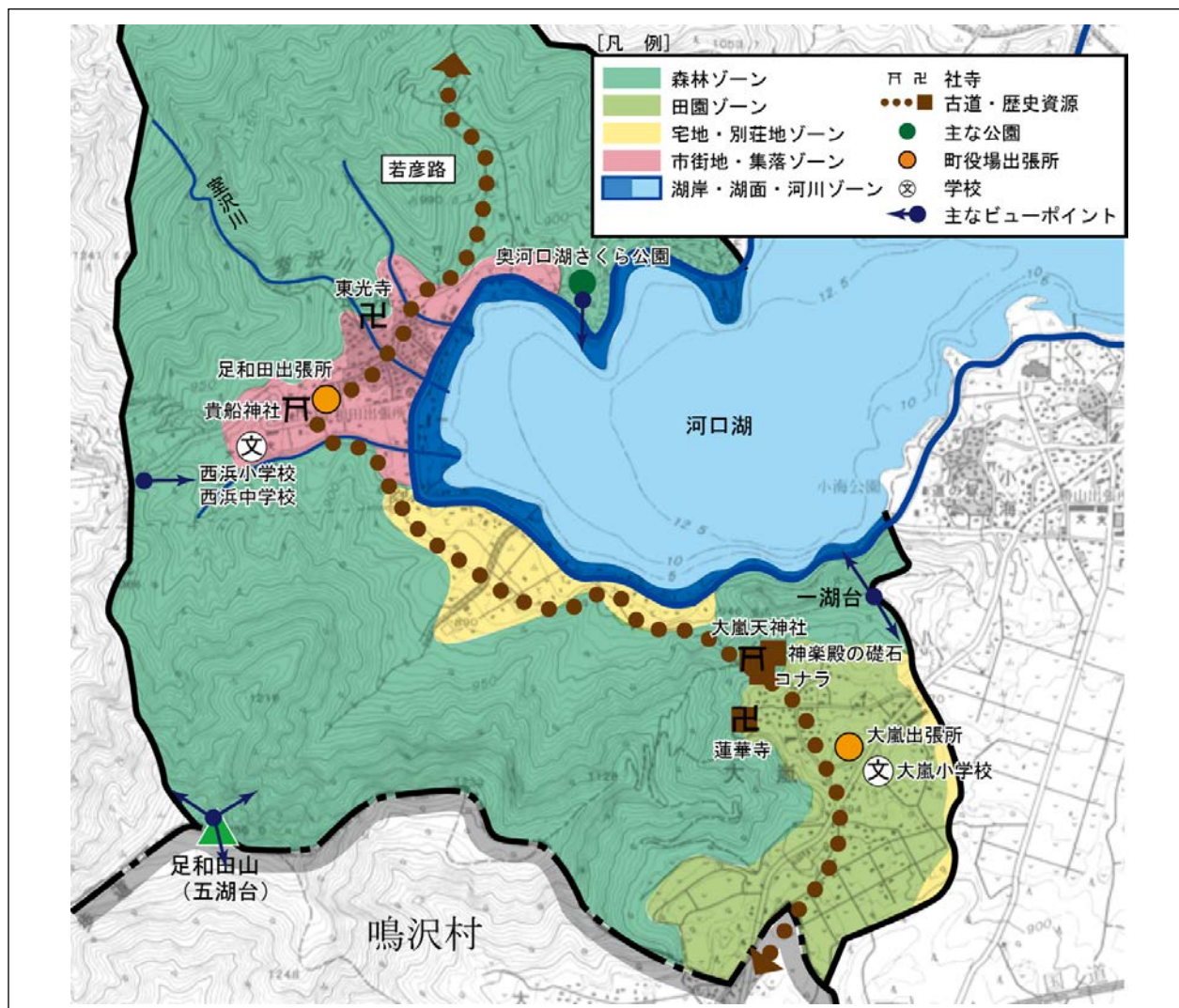
若彦路の街道筋でもあった長浜集落では、東光寺からの河口湖の眺め、暮らしぶりを伝える折曲した坂道、畑、石垣、民家など、同じく大嵐集落では、集落を囲む里山、農地、茅葺きの形態を残す大屋根の民家、屋敷林、野仏、石垣、蓮華寺等の古刹、湧水、ホタルなどがみられ、各々、特徴ある集落景観を形成しています。

長浜集落では、奥河口湖の中心集落として、観光的にも価値のある集落景観や魅力づくりを図ります。また、過疎化が進む大嵐集落では、身近な景観資源を活かした集落景観や魅力づくり、空き家を活用した移住や田舎暮らしの促進などを図ることにより、「奥河口湖の風情がただよう懐かしい集落景観づくり」を目指します。

基本方針

- 特色ある集落景観を保全・再生し、魅力を高める(長浜集落、大嵐集落)
- 富士山と河口湖の眺望を保全する
- 湖畔の美しい景観を維持し、魅力を高める
- 景観に配慮し、整序感のある家並み景観を誘導する(集落地、民宿・別荘地など)
- 主要な道路景観の魅力を高める(湖北ビューライン、湖畔道路など)

景観形成の方針図



景観形成の方針

■森林ゾーン

河口湖を取り囲む森林ゾーンは、奥河口湖の自然景観や里山の風景を形成する上で重要な役割を果たしており、厳正な保全を図ります。また、毛無山、足和田山（五湖台）、一湖台などの眺望地点においては、良好な眺望景観の確保、眺望地点の整備を図ります。



・毛無山の森林景観

■田園ゾーン

集落と農地が一体となった大嵐の伝統的な農村集落ゾーンで、里山や農地の保全、耕作放棄地の景観的な活用を図るとともに、身近な景観資源を活用したまちづくりの推進、空き家を活用した移住や田舎暮らしの促進、廃屋や廃棄物等の景観阻害要因の改善などにより、懐かしい趣を残しながらも魅力が感じられる農村景観の形成を図ります。



・大嵐の農村集落

■宅地・別荘地ゾーン

湖畔の別荘地や民宿が立地するゾーンで、森と湖に寄り添って暮らす良好な環境や景観を維持し、周辺景観と調和した整序感のある家並み景観の形成を図ります。



・湖畔の住宅・別荘地

■市街地・集落ゾーン

長浜集落のゾーンで、地形に沿って民家が集約的に立地し、河口湖最奥から眺められる趣のある集落景観の保全を図るとともに、湖岸の魅力づくりと併せて、主要な道路、建築物、構造物の修景、特色ある緑化などにより、奥河口湖の中心集落にふさわしい歴史と風情の感じられる景観形成を図ります。



・長浜集落のまち並み

■湖岸・湖面・河川ゾーン

豊かな自然環境と景観を呈する湖岸ゾーンで、既存公園の魅力の向上、眺望場所や湖畔の整備など、ロングビーチの名にふさわしい良好な湖岸景観の維持向上を図ります。



・長浜の浜辺



・長浜からみた奥河口湖の眺め

<主要な景観形成の対象>

- 長浜集落の景観（折曲した坂道、畑、石垣、民家など）
- 大嵐集落の景観（里山、農地、茅葺きの形態を残す大屋根の民家、屋敷林、野仏、石垣、蓮華寺、湧水、ホタルなど）
- 河口湖の眺望（長浜東光寺、湖畔の眺望場所など）
- 富士山の眺望（毛無山、足和田山（五湖台）、一湖台など）
- 湖水・湖岸（ロングビーチなど）
- 景観に配慮すべき主要道路（湖北ビューライン、湖畔道路など）

6) 西湖地区

目 標

豊かな森に抱かれた静かで素朴な湖畔と集落景観づくり

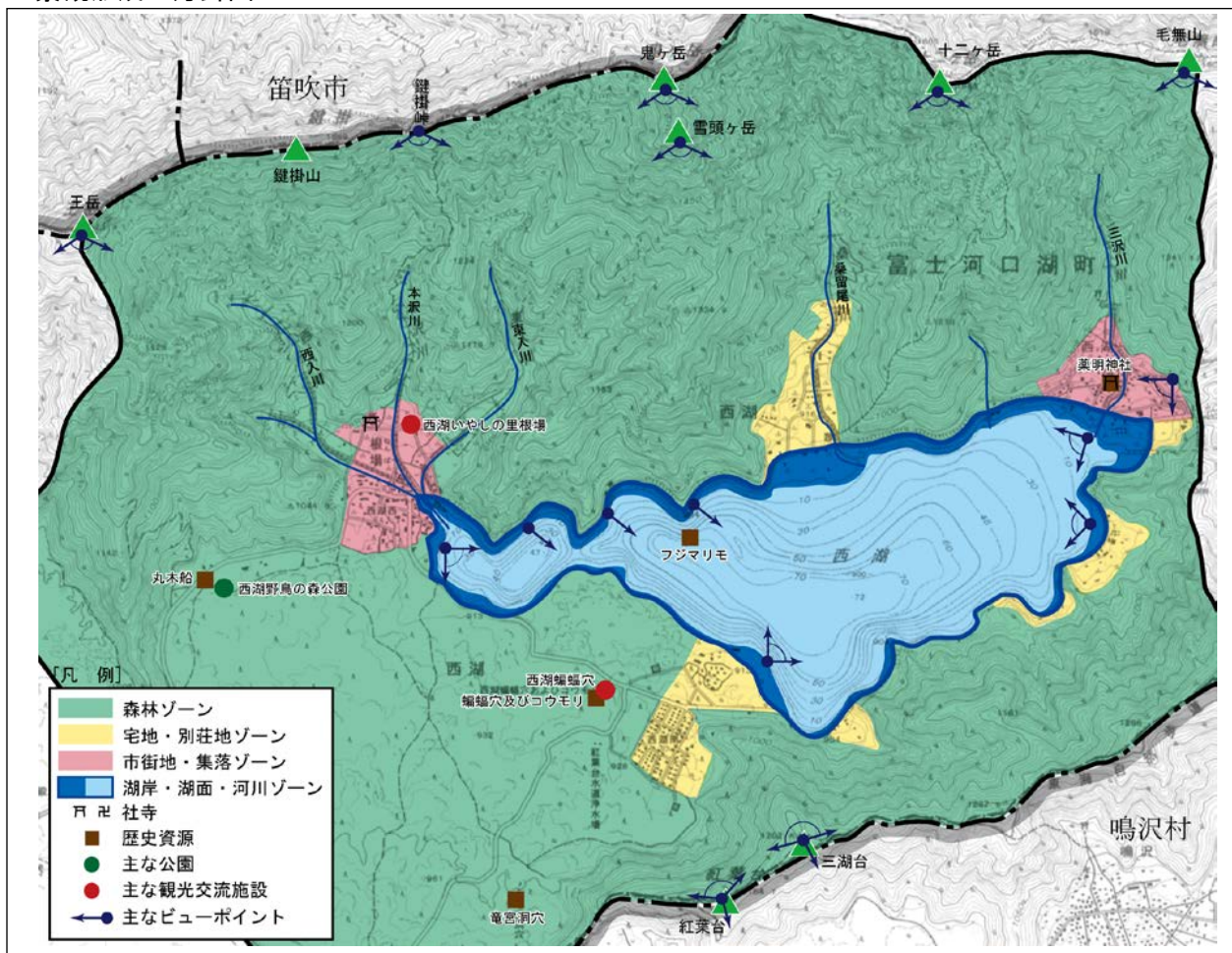
西湖を中心に御坂山地と足和田山塊の山林および青木ヶ原樹海の一部を擁する地区で、集落地としては、茅葺きの形態を残す大屋根の民家、門構え、火の見櫓などレトロで懐かしい雰囲気をもつ西湖集落、多くのキャンプ場が立地し、湖岸道路からの眺めがすばらしい桑留尾、民宿、ペンション、キャンプ場が立地し、南アルプスを背景に樹海と西湖の景観が美しい向浜、民宿村が立地し、いやしの里根場事業により茅葺き民家集落が再現された根場、落ち着いた雰囲気のある西湖民宿村などがあり、地形によって集落が分節化され、それぞれに特色ある景観が形成されています。

特色ある景観資源のまちづくりへの活用、富士山や湖の優れた眺望の保全、湖や湖畔の景観の維持向上、民宿村や伝統的集落の家並みや集落景観の維持向上などを図ることにより、「豊かな森に抱かれた静かで素朴な湖畔と集落景観づくり」を目指します。

基本方針

- 富士山と西湖の眺望を保全する
- 湖畔の美しい景観を維持し、魅力を高める
- 周辺の自然景観に調和し、整序感のある家並みと集落景観を誘導する
(西湖集落、根場集落、湖畔の民宿・観光施設など)
- 優れた眺望場所を整備する
- 主要な道路景観の魅力を高める(湖北ビューライン、湖畔道路など)

景観形成の方針図



景観形成の方針

■森林ゾーン

西湖を取り囲む御坂山地と足和田山塊の森林ゾーンは、西湖の自然景観や集落の背景を成す里山景観として重要な役割を果たしており、厳正な保全を図ります。また、王岳、鍵掛峠、鬼ヶ岳、雪頭ヶ岳、十二ヶ岳、毛無山、紅葉台、三湖台、足和田山（五湖台）など登山・ハイキングコース上の主要な眺望場所やルートを整備を図ります。



・湖面に緑を映す雪頭ヶ岳と十二ヶ岳

■宅地・別荘地ゾーン

湖畔の民宿村、ペンション、キャンプ場、観光レクリエーション施設が立地するゾーンで、良好な自然環境や景観、優れた眺望景観を損なわないよう自然景観と調和した整序感のある家並みや集落景観の形成を図ります。



・緑豊かな西湖民宿村

■市街地・集落ゾーン

古くからの集落地である西湖集落については、茅葺きの形態を残す大屋根の民家や門構え、火の見櫓、社寺等の景観資源の保全に努めるとともに、空き家を活用した移住や田舎暮らしの促進等により、レトロで懐かしい雰囲気を損なわないよう、周辺景観と調和した統一感のある集落景観の形成を図ります。



・西湖集落の家並み

根場については、西湖いやしの里根場を核とした観光地としての魅力づくりや景観形成を図ります。また、周辺の里山と一体となった農地については、いやしの里にふさわしい静かで落ち着いた田園景観の維持向上を図ります。



・西湖いやしの里根場

■湖岸・湖面・河川ゾーン

西湖の湖岸を中心としたゾーンで、景観に配慮した湖畔道路の整備（ガードレール、法面等）、湖岸の護岸整備、湖畔道路や沿道の修景・緑化、観光関連施設の看板等の適正な規制・誘導等により、良好な湖水景観の維持向上を図ります。



・根場浜からみる西湖と富士山



・景観的配慮が求められる水辺



<主要な景観形成の対象>

- 優れた眺望場所（桑留尾、向浜、根場浜など）
- 西湖の湖水・湖岸
- 西湖集落の景観（茅葺きの形態を残す大屋根の民家や社寺、レトロな家並みなど）
- 根場集落の景観（西湖いやしの里根場を中心とした農村景観）
- 景観に配慮すべき主要道路（湖北ビューライン、湖畔道路など）
- 湖畔の観光施設等

7) 精進地区

目 標

自然豊かな森の中に湖水と古道の歴史が映える景観づくり

精進地区は、大半が御坂山地と青木ヶ原樹海の森林に覆われ、集落は精進湖の北側に立地しています。かつては中道往還の伝馬宿として民家 350 軒が町場を形成し、栄えていましたが、台風災害で昭和 48 年に大半が精進湖民宿村へ集団移住しました。

精進集落は、宿場特有の間取りや建築様式をもつ古い民家、古刹である諏訪神社や大杉、街道筋の面影など、独特の集落景観を呈しています。

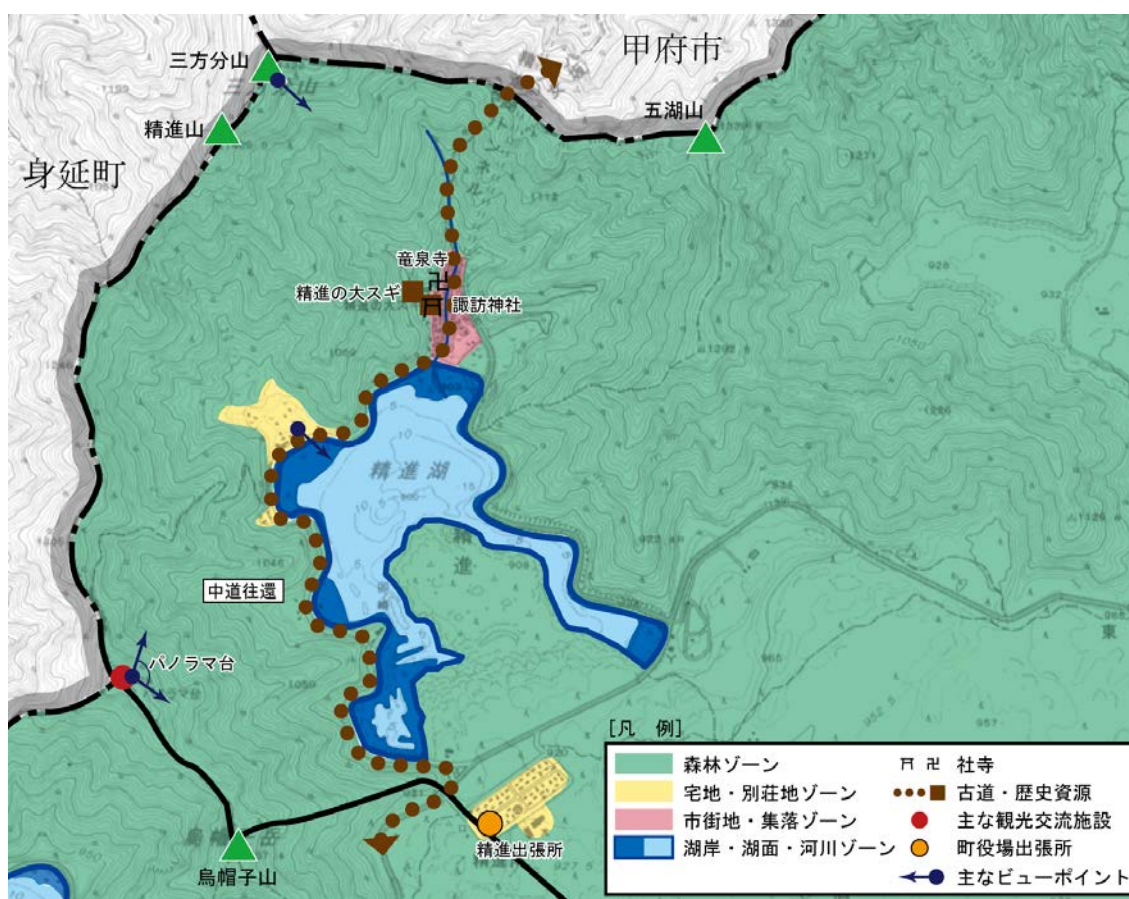
また、精進湖の景観は東洋のスイスと呼ばれ、富士山の前景として眺める良好な湖水景観が広がっており、近年はカヌーのメッカとして親しまれています。

雄大な自然景観や眺望景観の保全、優れた眺望場所の整備、湖や湖畔の景観の保全と魅力の向上を図り、精進集落の歴史資源を活かした景観まちづくりの促進、豊かな自然に囲まれた精進民宿村の家並みや景観の維持向上を図ることにより、「自然豊かな森の中に湖水と古道の歴史が映える景観づくり」を目指します。

基本方針

- 富士山と精進湖の眺望や樹海の景観を厳正に保全する
- 湖畔の美しい景観を維持し、魅力を高める
- 歴史を伝える集落景観の保全と魅力を高める(精進集落)
- 周囲の自然景観に調和し、整序感のある家並みや景観を誘導する(精進湖民宿村など)
- 主要な道路景観の魅力を高める(国道 139 号、国道 358 号、県道精進湖畔線など)

景観形成の方針図



景観形成の方針

■森林ゾーン

精進湖を囲む青木ヶ原樹海と御坂山地の森林ゾーンは、地区の大半を占める景観要素で、地域景観はもとより、富士山や精進湖の眺望景観にとっても重要な役割を果たしており、厳正な保全を図ります。また、王岳、五湖山、三方分山、パノラマ台など、登山・ハイキングコース上の主要な眺望場所やルートの整備を図ります。



・青木ヶ原樹海と精進湖



・三方分山の緑



・五湖山から見る富士山

■宅地・別荘地ゾーン

湖畔の宿泊施設が立地する他手合浜周辺と精進湖民宿村のゾーンで、良好な自然環境や景観、優れた眺望景観を損なわないよう自然景観と調和した整序感のある家並みと景観の形成を図ります。



・他手合浜付近の宿泊施設



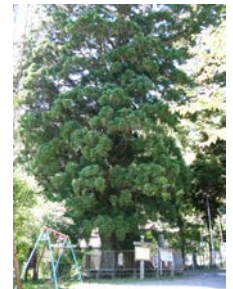
・精進民宿村

■市街地・集落ゾーン

精進集落のゾーンで、古道の歴史が映える集落景観づくりを目指し、宿場特有の間取りや建築様式をもつ古い民家、古刹である諏訪神社や天然記念物の大杉、中道往還の道筋等の歴史的景観資源の保全と、これらの資源を活かした集落景観や魅力づくり、空き家を活用した移住や田舎暮らしの促進などを図ります。



・中道往還の道筋に並ぶ精進集落



・精進の大杉

■湖岸・湖面・河川ゾーン

湖岸を中心としたゾーンで、水辺や溶岩がつくり出した特異な景観の保全、景観に配慮した湖畔道路や湖岸整備、湖畔道路や沿道の修景・緑化、観光関連施設の看板等の適正な規制・誘導等により、優れた湖水景観の維持向上を図ります。



・他手合浜



・精進湖と子抱き富士

<主要な景観形成の対象>

- 精進集落の景観（古民家、社寺、中道往還の道筋、身近な歴史的景観資源など）
- 富士山と精進湖の眺望（他手合浜周辺など）
- 青木ヶ原樹海
- 精進湖の湖水・湖岸
- 景観に配慮すべき主要道路（国道 139 号、国道 358 号、県道精進湖畔線など）
- 湖畔の観光施設等

景観形成の方針

■森林ゾーン

本栖湖を囲む樹海や山岳の森林ゾーンは、地区の大半を占める景観要素で、地域景観はもとより、富士山や本栖湖の眺望景観にとっても重要な役割を果たしています。

そのため、森林景観の厳正な保全を図るとともに、ダイヤモンド富士で知られる竜ヶ岳からの富士山の眺望景観の保全および活用を図ります。その他にも、東海自然歩道や登山・ハイキングコース上の主要な眺望場所とルートを整備を図ります。

また、本栖湖東岸の本栖の森については、景観上重要であることから積極的に保全を図るとともに、やむを得ず遊歩道等の施設整備を行う場合においては、自然や森林景観を損なわないよう景観に配慮した最小限の整備を図るよう努めます。



・本栖湖を囲む山の緑



・竜ヶ岳からみたダイヤモンド富士

■田園ゾーン

本栖集落の東側にある一団の農地ゾーンで、本栖集落と一体的となった農村景観を形成していることから、その特色を損なわないよう良好な田園景観の維持向上を図ります。



・本栖集落



・集落地と農地

■市街地・集落ゾーン

国道 139 号と国道 300 号の交差点周辺の本栖集落のゾーンで、「本栖千軒を偲ばせる景観づくり」を目指し、関所跡、本陣などの歴史的景観資源を活かした景観まちづくりや周辺景観と調和する整序感のある家並みと景観の形成を図ります。



・本栖中心部のまち並み



・本栖関所跡

■湖岸・湖面・河川ゾーン

湖岸を中心とするゾーンで、湖面に限らず岸辺一帯は自然に近い生態域と湖岸景観が保たれており、この優れた自然環境や景観の維持向上を図ります。また、景観に配慮した湖畔道路や沿道の修景・緑化、サイン類の適正な規制・誘導等により、湖水景観の維持向上を図ります。



・中之倉からみた本栖湖と富士山

<主要な景観形成の対象>

- 本栖集落の景観（集落の家並み、関所跡・本陣などの歴史的景観資源）
- 富士山と本栖湖の眺望
- 自然に近い湖水・湖岸の水辺
- 本栖の森
- 景観に配慮すべき主要道路（国道 139 号、国道 300 号、県道本栖湖畔線など）
- 湖畔の観光施設等

9) 富士ヶ嶺地区

目 標

富士と草原が織りなす大景観づくり

富士ヶ嶺高原と呼ばれる富士山麓の高原ゾーンで、富士山を背景とした広大な酪農景観は富士ヶ嶺を代表する特徴的な景観となっています。ダイヤモンド富士の景観も本地区を代表する景観のひとつです。

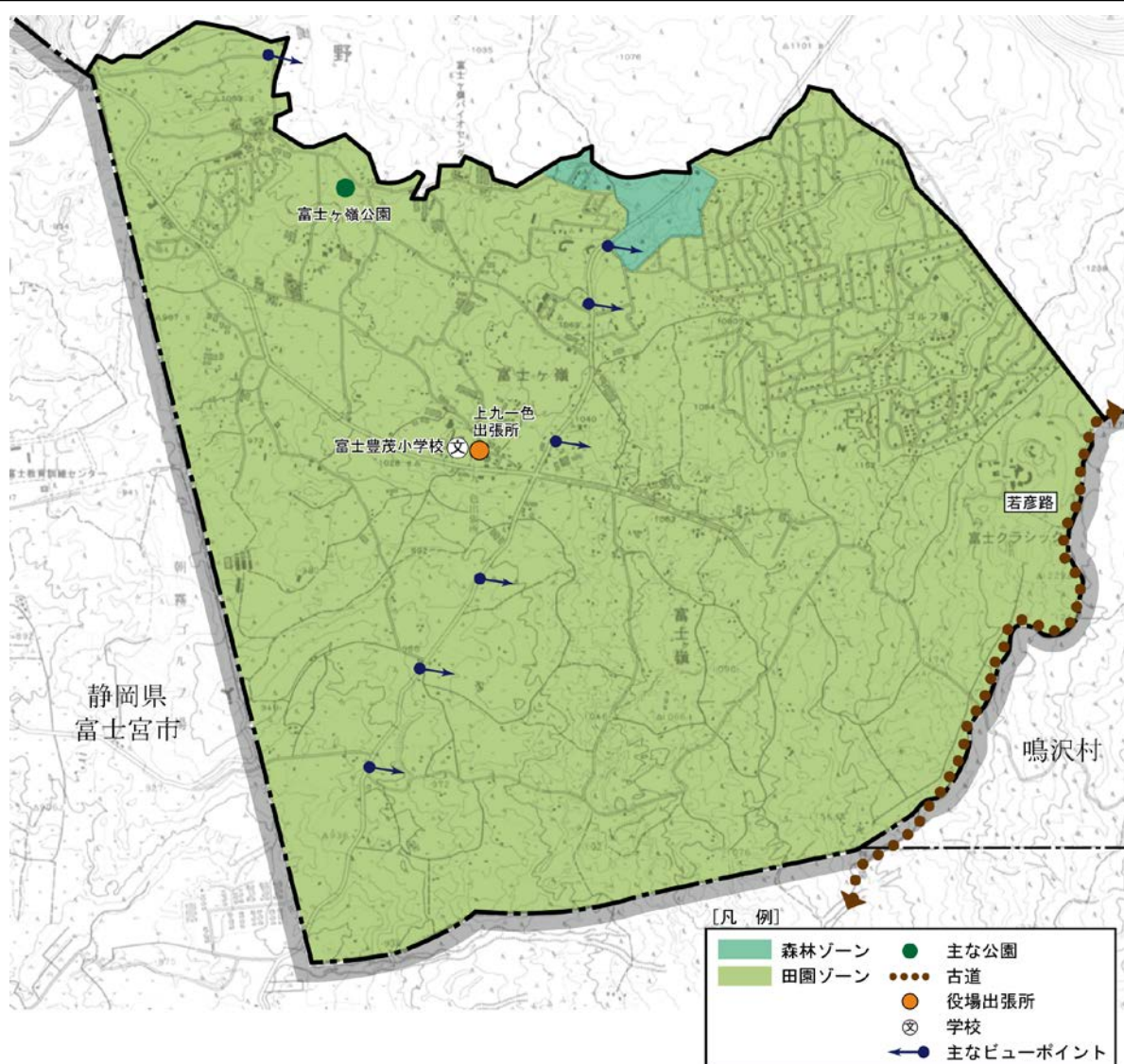
また、新緑や紅葉、高原特有の霧、雪などの四季を感じさせる風景、地域の自主的活動による沿道や庭先の草花植栽なども景観に彩りを添えています。

地域の自然や暮らしぶりがそのまま風景となる「富士と草原が織りなす大景観づくり」を目指し、雄大な自然景観の保全を図ります。

基本方針

- 富士山の眺望を保全する
- 良好な酪農・田園景観の維持向上を図る
- 景観に配慮し、整序感のある家並み景観を誘導する(集落地、別荘地など)
- 主要な道路景観の魅力を高める(県道富士宮鳴沢線、町道富士ヶ嶺1号線など)

景観形成の方針図



景観形成の方針

■森林ゾーン

大室山や樹海に連なる森林ゾーンは、地区の大半を占める景観要素で、地域景観はもとより富士山や本栖湖の眺望景観にとっても重要な要素です。そのため、森林景観の厳正な保全を図ります。

また、森林ゾーンに入り込むように別荘地やゴルフ場などが広く分布しており、景観に配慮した建築物や工作物の規制・誘導、主要な道路の景観整備、適切な別荘地や施設の維持管理の促進などにより、樹林に囲まれた良好な地域景観の維持向上を図ります。



・割石峠付近の別荘地



・ドクタービレッジ



・ゴルフ場

■田園ゾーン

本地区の田園ゾーンは、広大な高原に牧草地や開拓による入植を起源とする集落が点在しており、本町だけでなく山梨県を代表する酪農景観が展開しています。ダイヤモンド富士をはじめ、富士山の優れた眺望の確保、農地の保全、景観に配慮した建築物や工作物の誘導や主要な道路の景観整備、沿道や庭先の緑化の推進、イチリンソウなどの希少種の保全、看板類やごみの不法投棄などの景観阻害要因の改善などにより、良好な地域景観の維持向上を図ります。

また、集落地や別荘地についても、周辺景観と調和する整序感のある家並みと景観の誘導を図ります。



・広大な牧草地と富士山



・牧柵で仕切られた牧場



・広々とした農地景観



・緑豊かな集落地景観



・町道富士ヶ嶺1号線と富士山

<主要な景観形成の対象>

- 富士山の眺望（ダイヤモンド富士など）
- 農村景観（草原、農地、点在する集落、酪農施設など）
- 別荘地景観（別荘地など）
- 景観に配慮すべき主要道路（県道富士宮鳴沢線、町道富士ヶ嶺1号線など）